

区政をきく (一般質問)

一般質問とは議員が、区の行政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問です。
令和2年第3回定例会では、区政全般について、9名の議員が一般質問を行いました。
以下、概要をお知らせします。

一般質問

9月17日(木)		9月18日(金)	
本多 健信	議員(自・民)	木村 けんご	議員(自・無)
大沢 真一	議員(自・無)	若林 ひろき	議員(公・明)
つる 伸一郎	議員(公・明)	安藤 たい作	議員(共・産)
石田 ちひろ	議員(共・産)	筒井ようすけ	議員(品・改)
横山 由香理	議員(無所属)		

会派名は次の略語で記載しています。

自民……品川区議会自民党 自・無……自民・無所属・子ども未来
公明……品川区議会公明党 共産……日本共産党品川区議団
品改……品川改革連合 ネット……品川・生活者ネットワーク

本会議における発言の際はマスクを着用することとしておりましたが、第2回定例会本会議より、議長席および演壇においてはアクリル製飛沫防止パネルを設置し、マスクを外しての発言を可能としました。

本多 健信 議員 (自・民)



特別定額給付金としながわ活力応援給付金について

問 特別定額給付金の給付の遅れを検証し、しながわ活力応援給付金の8月中の給付体制の構築を、品川区議会自民党より区長に要望したが、改善点は。

答 特別定額給付金の口座情報の活用により添付書類を省略するなど、申請書作成の簡略化を図った。また、チャットボットを活用した申請状況確認サービスを進めている。

保健所機能の強化等について

問 保健所機能の強化について会派より区長に要望し、さらに特別区議会議員より国や都に支援等を要望している。危機管理の視点等から区の方針や所見は。

答 保健所は地域における健康危機管理の拠点であり、機能強化が欠か

都区制度改革より20年について

問 特別区が地方自治法上、基礎的自治体と位置付けられた都区制度改革より20年が経過した。残された課題の解決が更なる自治権の確立につながるが、思うようには進んでいない。区の総括的な所見を。

答 基礎自治体としての役割にふさわしい都区の在り方に変えていくことは従来から主張しており、早期の実現が必要だ。20年の節目を契機に、地域の実情に合った行政サービスを一層展開できるよう、改めて更なる改革をめざしていく。

品川区水辺千本桜計画達成後の更なる計画について

問 今年度内に桜の整備が千本に到達すると示されたが、品川区桜三千本計画の創設等、更なる桜の植樹、整備の拡大計画について所見を。

答 区内全域の桜の植樹は、これまで様々な機会を捉え、地域特性を踏まえて実施しており、今後も区民に親しまれ、地域にふさわしいみどりづくりを検討していく。

大沢 真一 議員 (自・無)



品川区における政策検証について

問 平成24年度事務事業評価報告書の公表を最後に8年近く行政評価が実施されていないが、事業の棚卸しは適切に行われてきたのか。

答 予算編成時等に事業の必要性等を確認し、事業の継続性や見直しを判断してきた。品川区総合戦略の取組でも主要事業の評価を行い、事業の拡充や見直しを図っている。

新型コロナウイルスに関連した対応について

問 電子書籍導入の検討を進める自治体が増えている。電子書籍の購入費の高さが電子図書館実現のネックだが、地方創生臨時交付金を活用し、前向きに検討すべきでは。

答 一般書籍の多くは電子書籍化されていない状況もある。他自治体を参考にし、古地図を初め、郷土資

料等をデジタル化する予定である。

問 感染拡大に伴う休業により、文化芸術施設を運営する指定管理者の利用料収入が大幅に落ち込んでいる。どのように減収補填するのか

答 今年度は減収分を補填する予定。来年度は影響をできるだけ見込んだ指定管理予算とし、減収補填に関する規程整備を進めていく。

問 再度臨時休校をしなければならなくなつた場合、ハード・ソフトの整備が十分でない中、どのようにオンライン教育を継続させるのか。

答 本年12月からは6・9年生に、その他の学年も来年度2月中旬にタブレットを配布できるよう努めている。Zoomなどを利用して、自宅にいながら同時双方向で授業を受けることも可能となる。

青少年のインターネットモラル教育について

問 学校生活におけるSNS等でのいじめの発見・防止にどのように取り組んでいくのか。

答 日頃より教職員が児童・生徒の細かい変容を見逃さないよう努めている。また、市民科でSNS東京ルールに基づく学習をしており、保護者会等でも家庭での具体的なルール作りを依頼している。